

No.10	調査課題名：食品の安全性の確保のためのリスク評価に関する研究内容・研究者等の調査					
調査目的	適切なリスク評価の推進、緊急時における適切かつ迅速な対応等を図るために、食品安全委員会が平成18年度に構築する「人材情報データベース（食品の安全性の確保に関するリスク評価等に関し知見を有する幅広い分野の研究内容・研究者の情報等を蓄積・整理し、迅速な検索が可能となる情報システム）」に関する基礎的な情報を得ることを目的として実施する。					
その他	進捗状況 (<input type="checkbox"/> で表示)	契約手続き準備中 ・ 企画競争公告中 ・ 調査実施中 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 調査終了				
	公告日	H18. 6. 16	契約締結日	H18. 7. 3	履行期限	H18. 12. 4
	調査実施機関	独立行政法人科学技術振興機構				
	契約金額	13,000,000円				
	仕様書 (調査内容の詳細)	別紙のとおり				

別紙

食品の安全性の確保のためのリスク評価に関する研究内容・研究者等の調査 仕様書

1. 調査の目的

本調査は、適切なリスク評価の推進、緊急時における適切かつ迅速な対応等を図るために、食品安全委員会が平成18年度に構築する「人材情報データベース（食品の安全性の確保に関するリスク評価等に関し知見を有する幅広い分野の研究内容・研究者の情報等を蓄積・整理し、迅速な検索が可能となる情報システム）」（別添参照）に登録する基礎的な情報を得ることを目的とするものである。

2. 調査方法

厚生労働省、農林水産省、文部科学省、独立行政法人等の関係機関の研究報告、食品の安全性等に関連する学会誌及び学術誌等から、食品の安全性等に関する研究成果を抽出し、当該研究成果に係る関係情報を収集する（過去10年間の研究成果を対象）。

(1) 調査対象分野

食品添加物、農薬、動物用医薬品、化学物質・汚染物質、微生物・ウイルス、プリオン、自然毒、遺伝子組換え食品・飼料、新開発食品、飼料肥料等

(2) 調査対象の文献資料等

①厚生労働省、農林水産省、文部科学省等の行政機関が委託・依頼した研究報告

②厚生労働省、農林水産省、文部科学省等の研究機関、独立行政法人、公立研究機関等の研究報告

③海外・国内の学会誌及び学術誌

対象とする学会誌及び学術誌は、科学的に信頼性の高いものを考慮する。

(3) 研究成果の抽出方法

上記の調査対象分野毎に内閣府食品安全委員会事務局担当官（以下「担当官」という。）が例示するキーワードを参考の上、食品の安全性等に関する研究成果の情報を検索し、抽出する。キーワードについては、別紙1に例示する。

また、研究成果の収集を行うに当たり上記のキーワード以外にも特定の研究者（研究者は、おおむね200名で、詳細は担当官が示す。）別にも研究成果を抽出する。

(4) 調査対象の研究者

調査対象は、上記2-(1)、(2)、(3)の手順で抽出した研究成果の日本人研究者であって大学の講師以上、国立研究機関及び独立行政法人の室長以上の役職にある者又はそれと同等以上の者とする。研究成果が複数の研究者による共同研究である場合は、研究成果に記載されている代表者以外の研究者も調査対象とし、各研究者ごとに研究者情報を収集する。

3. 調査項目

研究成果内容とその研究者情報について以下の項目を調査する。

発表年月日、研究分野、研究課題名、発表書誌名、実施機関・学部・学科（住所等の連絡先）、キーワード、代表研究者名・共同研究者名（氏名、所属、年齢、性別、経歴・現在の所属等）、研究課題の概要（英文については和訳）、国が実施した委託研究等に関する情報（資金名、資金の所管機関名（省庁名等）、実施年度（開始年度、終了(予定)年度）等）、研究成果情報等の情報源URL、その他特記事項等人材情報データベースに必要な情報

4. 研究成果の原文の収集及び人材情報データベースへの掲載許諾等

受託者は、抽出した研究成果の原文を収集し、人材情報データベースへの掲載許諾を著作権者より得る。また、研究成果の原文の人材情報データベース掲載許諾料については、本調査経費に含めるものとするが、その限度額については担当官の指示に従う。

5. 情報の更新手段

今回、本調査で収集した情報の更新手段を記載した手順書を作成する。手順書には、調査対象の研究成果、研究者情報等についての更新方法を記載する。

6. 報告書等の作成

研究成果及び研究者情報に関する調査項目について得られた情報を体系的に整理し、報告書を作成するとともに調査結果を電子媒体（MO）に記載して提出する。

（1）報告書には次の内容を記載する。

調査方法、調査対象の文献の一覧、研究者情報、調査結果、情報の更新手段

（2）電子媒体には次の内容を記載する。

①研究成果及び研究者情報等の調査結果を項目毎にエクセルファイル形式で入力し、電子媒体(MO)で提出する。

②研究成果の原文は、PDFファイルにした上で、電子媒体(MO)に保存して提出する。その際の電子ファイル名は、担当官が示す規則に従ったファイル名とする。

また、この電子ファイル名は調査結果を入力したエクセルファイル（5.(2)①に示したもの）の適切なセルにその電子ファイル名を入力する。

③情報の更新手段の電子ファイルを電子媒体(MO)として提出する。

報告書等の構成等については、事前に担当官の了解を得ることとする。

7. その他

（1）調査の実施に当たっては、事前に担当官と連絡を密に取ることとし、調査実施中に疑義が生じた場合には、担当官と協議の上、その指示に従うこと。

（2）本業務により知り得た成果については、許可なく第三者に譲渡してはならない。

（3）外国語の資料を入手した場合には、担当官と協議の上、必要なものについて日本

語に翻訳する。

- (4) 調査期間中に図書を購入する必要がある場合には、担当官と協議の上、その指示に従うこと。
- (5) 調査期間中に食品に係る緊急な危害情報を入手した場合は、速やかに食品安全委員会事務局に連絡すること。

8. 成果物

- (1) 報告書（印刷物 20 部）
- (2) 5.(2)に記載する電子媒体（MO の電子媒体 2 部）

9. 作業期間

契約日から平成 18 年 12 月 4 日

10. 履行期限

平成 18 年 12 月 4 日（月）

人材情報データベース 検索結果表示イメージ(素案)

別添

データベースの概要(素案)

1. 目的
食品の安全性の確保のためのリスク評価等について、知見を有する幅広い分野の研究者の情報を蓄積・整理することにより、適切なリスク評価を推進するとともに、緊急時における適切かつ迅速な対応等を図る。なお、内容は、非公開。
2. 情報収集の方法
関係機関、食品の安全性等に関する学会、研究発表論文等から、リスク評価に関する研究成果を抽出し、当該研究成果に係る関係情報を収集する(当面は、過去10年間の研究成果を対象)。
3. 入力データ項目(検索対象項目)
発表年月日、研究分野、研究課題名、発表書誌名、実施機関・学部・学科(住所等の連絡先)、キーワード、代表研究者名・共同研究者名(氏名、所属、年齢、性別、経歴・現在の所属等)、研究課題の概要(英文については和訳)、国が実施した委託研究等に関する情報(資金名、資金の所管機関名(省庁名等)、実施年度(開始年度、終了(予定)年度)等)、研究成果情報等の情報源URL、その他特記事項等人材情報データベースに必要な情報
4. 検索方法
 - (1) 複数の検索対象項目から任意に選択した項目に対するフリーワード検索
例: 「研究課題名」、「研究課題の概要」を選択し、フリーワード「○○○」で検索
 - (2) 複数の特定項目による選択検索(期間の設定、機関名等のドロップダウンメニューからの選択)
例: 発表年月日: yyyy/mm/dd~yyyy/mm/dd、研究テーマ(食品添加物)等

1. 検索結果一覧表示画面

① 検索結果一覧画面

検索条件: 発表年月日 (yyyy/mm/dd~yyyy/mm/dd)、研究テーマ(食品添加物)、研究論文名・詳細内容(物質名○○○)

No.	発表年月日	研究テーマ	実施機関	主任研究者名	分担研究者名	研究論文名	詳細内容
1	2005/3/31	食品添加物	A	A-1	$\alpha-1, \beta-1$○○○...△△	詳細表示へ
2	2005/2/15	食品添加物	B	B-1	$\beta-1$○○○...	詳細表示へ
3	2005/1/12	食品添加物	A	A-2	$\alpha-2, \beta-2$○○○...	詳細表示へ
4	2004/12/21	食品添加物	C	C-1	$\alpha-3$○○○...	詳細表示へ
5	2004/11/16	食品添加物	C	A-1	$\beta-3$○○○...△△	詳細表示へ
6	2004/2/15	食品添加物、 化学物質	D	B-1	$\alpha-1, \beta-2$○○○...	詳細表示へ
7	2004/1/15	食品添加物、 化学物質	B	B-2	$\alpha-4$○○○...●●●...△△	詳細表示へ
8	2004/1/12	食品添加物、 化学物質	A	A-1	$\beta-4$○○○...◎◎◎	詳細表示へ
↓							
50							

② ①の検索結果一覧画面を主任研究者名(A-1)でフィルタリング

No.	発表年月日	研究テーマ	実施機関	主任研究者名	分担研究者名	研究論文名	詳細内容
1	2005/3/31	食品添加物	A	A-1	$\alpha-1, \beta-1$○○○...△△	詳細表示へ
5	2004/11/16	食品添加物	C	A-1	$\beta-3$○○○...△△	詳細表示へ
8	2004/1/12	食品添加物、 化学物質	A	A-1	$\beta-4$○○○...◎◎◎	詳細表示へ

③ ①の検索結果一覧を絞り込み検索 追加検索条件: 研究論文名(物質名△△)

No.	発表年月日	研究テーマ	実施機関	主任研究者名	分担研究者名	研究論文名	詳細内容
1	2005/3/31	食品添加物	A	A-1	$\alpha-1, \beta-1$○○○...△△	詳細表示へ
2	2004/11/16	食品添加物	C	A-1	$\beta-3$○○○...△△	詳細表示へ
3	2004/1/15	食品添加物、 化学物質	B	B-2	$\alpha-4$○○○...●●●...△△	詳細表示へ
↓							
20							

詳細表示画面(研究概要)

発表年月日	2005/3/31	
研究分野	食品添加物、化学物質	
研究課題名	食品添加物〇〇に関する研究	
発表雑誌名等	Nature(2006)又は平成17年度厚生労働科学研究実績	
実施機関	〇〇大学	
学部・学科	〇〇学部〇〇学科	
キーワード	[食品安全][食品添加物][評価]	
代表研究者名	A-1	
所属・役職	〇〇大学〇〇学部 教授	
共同研究者名(所属)	α -1(〇〇大学)、 β -1(〇〇大学)	
研究成果の概要(〇字程度)	PDF (論文) リンク (論文掲載サイト)
国が実施した委託研究等に関する情報		
資金名	〇〇プロジェクト研究費	
所管機関名	〇〇大学、厚生労働省、(独)〇〇研究所	
開始年度	平成16年度	
終了年度	平成17年度	
その他特記事項		

詳細表示画面(研究者)

主任研究者名	A-1	
所属・役職	〇〇大学〇〇学部 教授	
生年月日		
所属連絡先	住所、電話番号等	
履歴	学歴、職歴	
研究分野		
発表年月日	研究課題名	研究概要
2006/3/31		詳細表示
2005/2/15		詳細表示
2004/1/15		詳細表示
2000/3/31		詳細表示

キーワード情報(参考情報)

キーワード情報	
1	〇〇菌のリスク評価、リスクアナリシス、リスクプロファイル(サルモネラ属菌(Salmonella spp.)、カンピロバクター ジェジュニ/コリ(Campyrobacter jejuni/coli)、ぶどう球菌(Stapyllococcus aureus)、ボツリヌス菌(Clostridium botulinum)、腸炎ビブリオ(Vibrio parahaemolyticus)、腸管出血性大腸菌(Enterohemorrhagic Esherichia.coli)、ウェルシュ菌(Clostridium perf
2	〇〇ウイルスのリスク評価、リスクアナリシス、リスクプロファイル(ノロウイルス(小型球形ウイルス)、A型肝炎、E型肝炎、インフルエンザ)
3	2,3,5,6-テトラメチルピラジン
4	2,3,5-トリメチルピラジン
5	UL評価法
6	亜塩素酸ナトリウム
7	アカネ色素
8	亜酸化窒素
9	アセトアルデヒド
10	アミルアルコール
11	閾値
12	イソアミルアルコール
13	牛海綿状脳症(BSE)
14	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)
15	プリオン
16	特定危険部位(SRM)
17	肉骨粉(MBM)
18	健康食品
19	特定保健用食品
20	遺伝子組換え
21	放射線照射食品
22	オクラトキシンA
23	カビ毒(マイコトキシン)
24	下痢性貝毒
25	薬剤耐性菌
26	薬剤感受性、最小発育阻止濃度
27	抗菌性物質、抗生物質、合成抗菌剤
28	農薬
29	一日摂取許容量
30	毒性
31	発がん性
32	複合
33	参照
34	評価
35	遺伝毒性
36	代謝
37	動態